

JSAPIMS (Ver6.0) の機能およびリリース概要について

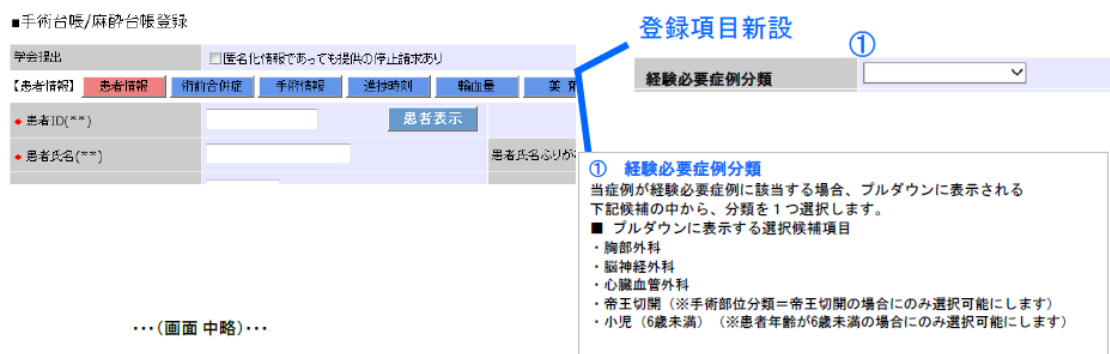
新専門医制度への対応に伴い、JSAPIMS を以下の内容で改変しております。

新バージョン (Ver6.0) の機能やリリースについて逐次提示いたします。

◆主な変更点と既存システムへの対応について

①入力画面

- ・従来の偶発症例調査「必須項目」に変更はありません。
- ・専門医制度に対応して「経験必要症例」入力画面を追加します。



②自動麻酔記録システム (AIMS) との接続インターフェイス

- ・既存の接続インターフェイスは通常はそのまま使用可能です (Ver2.0~Ver5.0)

③既存システムからの切り替え対応

- ・2019年1月以前に導入した場合でも、偶発症例調査2018年のデータ出力、と、2019年以降の専門医制度や偶発症例調査に対応したデータ出力、とは自動で切り替わります。

④データベース項目の拡充

JSAPIMS のデータベース項目について以下の内容を拡充します。

- ・気道・呼吸管理：気道確保分類、気道確保手段分類、換気分類、に細分化
- ・手術部位分類：頻度の高い手術名を加えることで手術部位分類の精度向上
- ・術前合併症：「旧分類」と術前合併症の整理

- ・開始時刻：必須項目を「手術開始時刻」から「麻酔開始時刻」に変更
- ・偶発症例提出ファイル：気道・呼吸管理、術前合併症、各種時間、の項目を追加

◆リリースまでのスケジュール

2018年10月頃 インストーラーリリース 各施設にてインストール

2019年1月より 新バージョンのJSAPIMSにて使用開始